

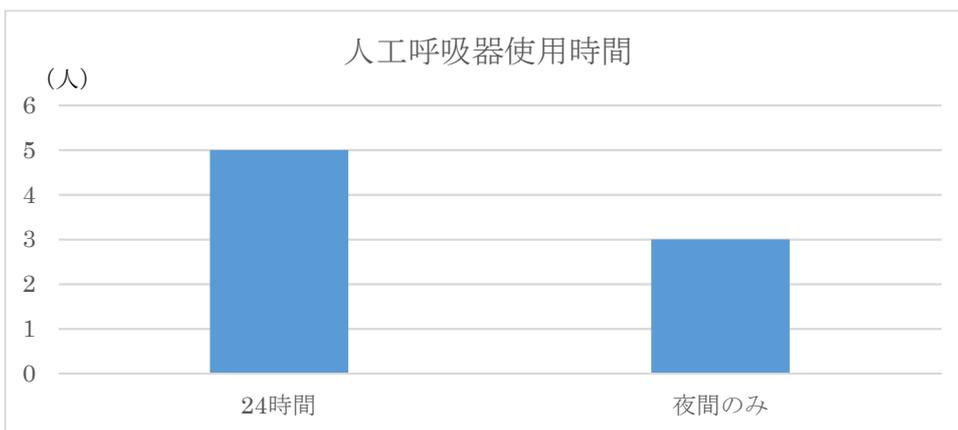
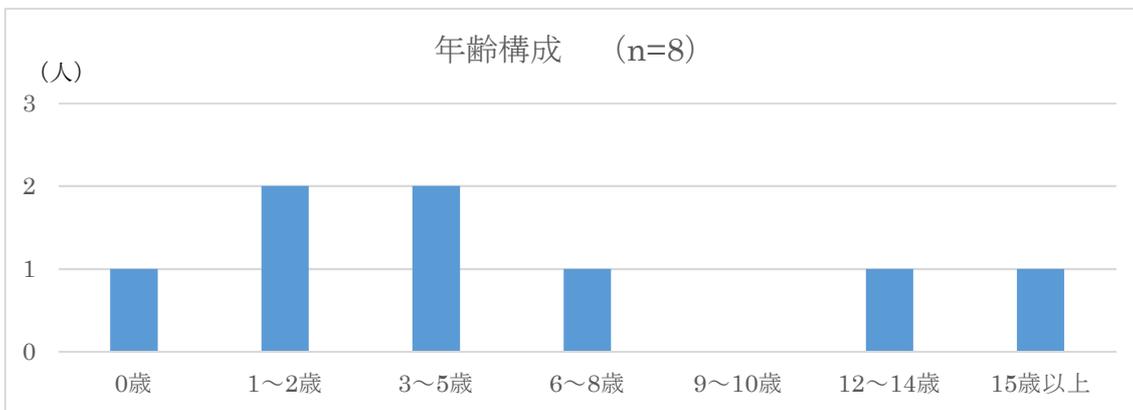
在宅人工呼吸器使用者災害時個別支援計画作成について

1 事業概要

在宅人工呼吸器使用者は、電力の供給停止が生命の危機に直結する、移動などの避難行動が困難という特性がある。

在宅人工呼吸器使用者およびその家族が、災害時の備えや発災時に適切な行動をとることができるよう、訪問看護ステーションまたは地区担当保健師が家族や関係機関等と「災害時個別支援計画」を作成している。年1回以上計画を見直し、災害時における対応の確認や緊急時連絡方法の練習を行なっている。

2 在宅人工呼吸器使用者災害時個別支援計画作成状況(医療的ケア児)



3 災害時の電力確保について

令和3年度から、難病患者以外にも電力供給が停止した時に人工呼吸器の駆動を確保できるよう、自家発電装置または蓄電池の購入費助成をしている。